

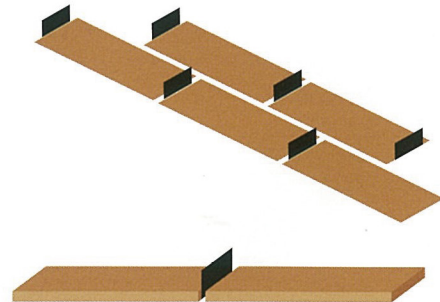
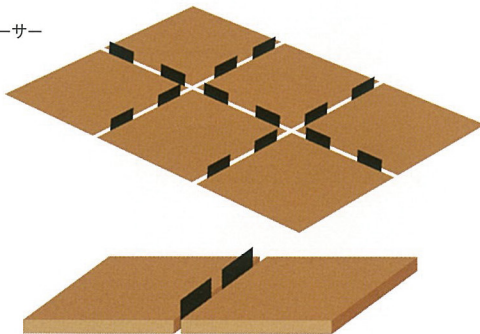
国内で製造のタイルカーペットピールアップ用接着剤であれば、アトラクアの施工は可能です。

- **下地はよく乾燥させ、水濡れ状態ではないこと**・過剰な水分を含んでいないことを確認して下さい(下地水分率8%以下)。接着不良の原因となります。
- 油・ワックス・塗料等が残存していると接着不良や変色の原因となりますので、施工前に除去をお願いいたします。
- **下地には平滑性が求められます**ので、接着剤を塗布する前に不陸調整等は必ず行って下さい。
- 接着剤を塗布する際には、**適度のクシ目を立てて塗布して下さい**。
- **接着剤塗布表面が透明になるまで、オープンタイムは必ず取って下さい**。
- **乾燥せずにタイルを貼られますと、目地部分から接着剤がはみ出てくる可能性があります**。  
また、接着剤の塗布量が多すぎますと、乾燥までに時間がかかります。
- 接着剤の塗布量は下地にもよりますが、標準としては0.10～0.15kg/m<sup>2</sup>です。
- ローラーによる塗布は避けて下さい。
- 下地が経年劣化等で脆弱な場合は、貼り替え時に材破する恐れがありますので下地補強材等で補強を行ったうえで施工して下さい。



- 施工時の室温は15℃～35℃に保ち、あらかじめタイルを室温になじませた後、詰めすぎないように**ゆるめ**に施工して下さい。
- 施工時の室温が15℃以下で施工される場合は、施工後に突き上げを起こす可能性がございますので、製品に添付されております紙をミシン目に沿ってカットし「スペーサー」としてご使用下さい。
- 施工時の室温が5℃以下の場合は施工を避けて下さい。

■ = スペーサー



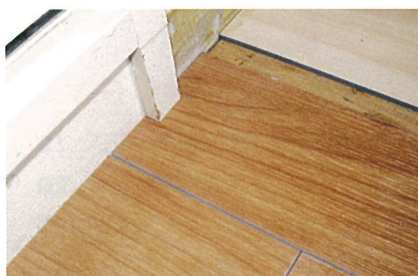
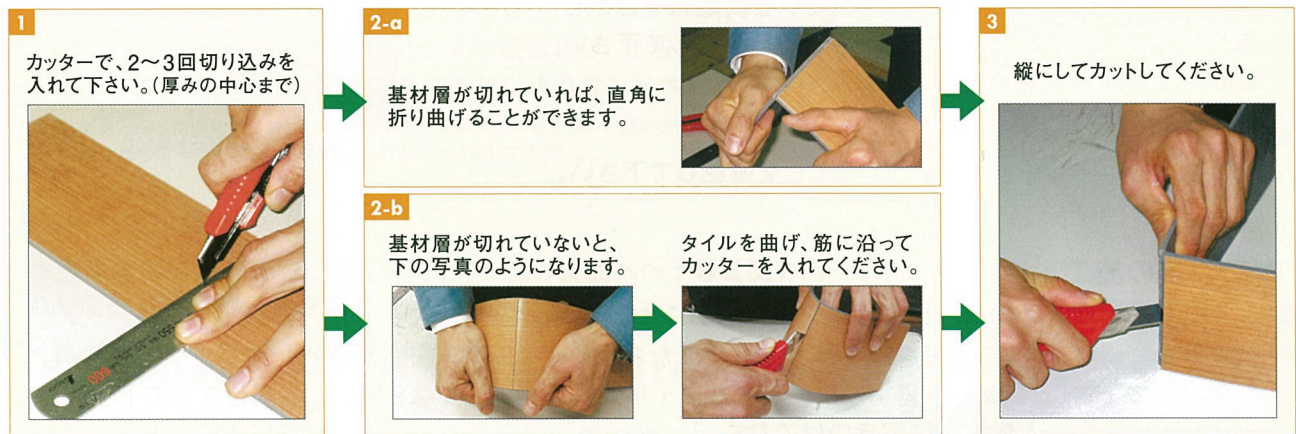
※ 木目調 (WOOD) サイズ:100mm×914.4mm 及び 150mm×914.4mm に関しましては、長手方向のみスペーサーを挿入してください。

\* 施工時にスペーサーが不足する場合は、施工済み箇所の物を再使用して頂きますよう、お願い致します。

**塩ビタイルですので、カッターでのカットが容易に出来ます。**

- 但し、寸法安定性を持たせるためにガラス繊維を内包しておりますので、切断する際には定規を当てて、ガラス繊維に到達するまで2～3回切り込んで下さい。
- **当床材を貼る際には、突き合わせ部分は比較的ゆるめに施工して下さい。**
- 施工時に、**壁等に当床材を無理矢理押し込むようなことを行うと、タイルが浮き上がってくる場合がありますので、1～2mm程度の隙が出来るように施工して下さい。**
- リフォーム等の場合で、既設幅木が木幅木等で除去できない場合や、突きつけ施工がやむを得ない場合がありますが、そのような場合においても出来るだけ緩めの施工(隙)を心がけて下さい。
- 隙が目立つ場合には、**コーキング材**等で埋めるなどの処理を行って下さい。

**中心部にガラス基材の層がありますので、ガラス基材層をカットするまでカッターで切り込みを入れて下さい。**

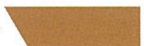


壁際の形状(出隅・入隅)にも、カッターで容易に切断可能です。



曲線部の切り口も写真のように、カッターで美しい仕上げが可能です。

壁際・柱周り等は垂直にカットして下さい。斜めにカットすると、突き上げの原因となります。

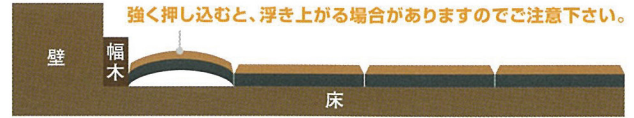


**強く押し込むと、浮き上がる場合がありますのでご注意下さい。**

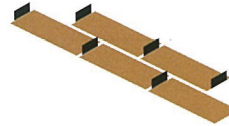
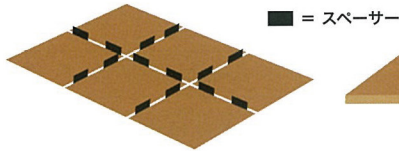


## 施工上の注意

01. 材料は、予め15°C~35°Cの室内に置き、室温になじませてから施工を行って下さい。  
タイルと室温に温度差があると、目地隙き、突き上げなどを起こす可能性があります。
02. 下地はよく乾燥させ、水濡れ状態ではないこと、過剰な水分を含んでいないことを確認して下さい(下地水分率8%以下)。接着不良の原因となります。  
また、油・ワックス・塗料等も残存していると接着不良や変色の原因となりますので、施工前に除去をお願い致します。
03. 当床材を貼る際には、**突き合わせ部分は比較的ゆるめに施工して下さい。**  
また、施工時に**壁等に当床材を無理矢理押し込むようなことを行くと、タイルが浮き上がってくる場合がありますので、1~2mm程度の間隙が出来るように施工して下さい。**



04. 施工時の室温が15°C以下で施工される場合は、施工後に突き上げを起こす可能性がありますので、製品に添付されております紙をミシン目に沿ってカットし「スペーサー」としてご使用下さい。

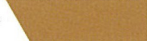


※木目調(WOOD)サイズ:100mm×914.4mm  
及び150mm×914.4mmに関しては、長手  
方向のみスペーサーを挿入してください。

・施工時の室温が5°C以下の場合は施工を避けて下さい。

・壁際・柱周り等は垂直にカットして下さい。斜めにカットすると、突き上げの原因となります。

※施工時にスペーサーが不足する場合は、施工済み箇所の物を再使用して頂きますよう、お願い致します。



05. 接着剤(ピールアップボンド)を塗布する際には、専用のピールアップ用の**クシ目ゴテ**を用いて下さい。  
\*乾燥せずにタイルを貼られますと、目地部分から接着剤がはみ出てくる可能性があります。  
また、接着剤の塗布量が多すぎますと、乾燥までに時間がかかります(標準塗布量:0.10~0.15kg/m<sup>2</sup>)。
06. 水や、その他液体を床材表面にごぼした場合、直ちに拭き取って下さい。反り・剥がれ等が起きる事があります。
07. 下地は補修材を用いて平滑にして下さい。  
脆弱な下地の場合には、下地補強材で補強を行った上で施工して下さい。  
下地となる床材に段差・不陸・目地隙き・破損及び剥がれ等がある場合は補修を行い、平滑性を確保して下さい。  
石材・木質系フローア一等の既設床材への重ね貼りの際には、目地を必ず埋め下地の不陸を補修し、割れ・ひび等が確認される場合には、平滑性を確保して下さい。また、非吸水性の下地(クッションフローア・長尺シート等)に重ね貼りする際には、施工環境温度を15°C以上に確保していただき、接着剤が完全に乾燥してから施工して下さい。  
\*下地となる石材・セラミックタイル・木質系フローア等の状態が悪く平滑性が保てない場合には、段差発生の原因となりますので施工はおすすめできません。  
\*表面に粗いエンボス加工が施されているタイルの上への施工はおすすめできません。施工後、当床材の表面にエンボスの跡が出てくる恐れがあります。
08. 通常の塩ビタイルと同様に貼ります。施工後は、下地との密着性を上げるために必ずローラー掛けを行って下さい。
09. 中心部にガラス基材の層がありますので、ガラス基材層をカットするまでカッターで切り込みを入れて下さい。
10. 施工後には、一般的な樹脂ワックス(非架橋型エマルジョンタイプ)を薄く2回以上塗布して下さい。
11. 部分貼り替えをした際には、初期導入時と同一のワックスを塗布してください。異なるワックスを塗布されたり、または塗布されない場合には、光沢差が生じる恐れがあります。
12. 下地の状態により、重量物(冷蔵庫・タンス等)を置いた場合には、へこみが出る場合があります。
13. 重ね貼り施工後、既存の床材の経年劣化(浮き・剥がれ等)により当床材の表面へ段差が生じる事があります。